

ロボット等を活用した職場処遇改善事業

事業概要書

事業委託元：神奈川県 ヘルスケア・ニューフロンティア推進局
事業委託先：湘南ロボケアセンター 株式会社

■ 事業背景と目的

介護事業所は慢性的な人材不足の状態にあり、（公財）介護労働安定センターによる調査では、介護事業所の約5割が従業員の不足感を訴えている。これは、介護の仕事に「低賃金で重労働」とのイメージが強いことや、介護職員の離職率が17.0%（平成24年度）と、全産業平均の14.8%を上回るなどが人材不足の原因であると指摘されている。

そこで、神奈川県では地域人づくり事業の一環として、介護事業所へロボットの活用を中心とした処遇改善プログラムを実施し、重労働の負担軽減や未病対策による疾病対策等を通じた離職率の低減（定着率の向上）による職場の処遇改善を図ることをもって、人材不足の解消を図る。

■ 事業のポイント

ロボットスーツHAL®介護支援用（腰タイプ）の活用を中心とした職場処遇改善プログラムを実施し、重労働となっている介護士の負担軽減と腰痛防止を図る。それにより、離職率の低減（定着率の向上）による職場の処遇改善を図り、人材不足の解消を図ってゆくことを狙いとする。

今回、神奈川県内の約500施設を対象に支援プログラムへの参加を呼びかけ、そこから25施設を選出する。

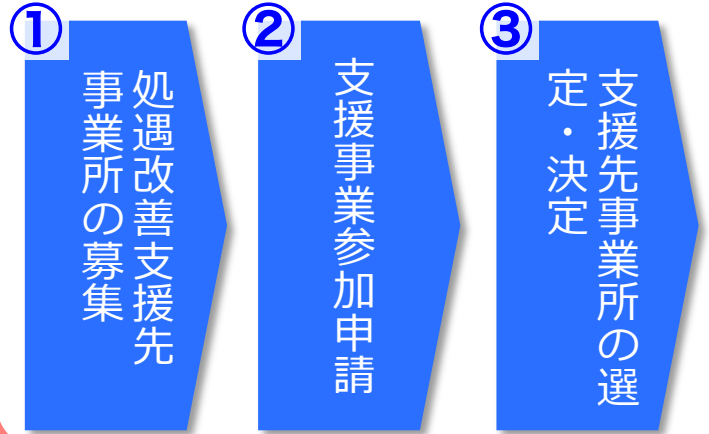
職場処遇改善プログラム計画

今回は全体スケジュールにおける第一段階の活動となります。

職場改善プログラムへの
参加提案申込と選定

今回の対象（第一段階）

H26年度（2015年3月）



職場改善プログラムの実施（H27年度）

来年度計画（第二段階）

H27年度（2015年4月～翌年3月）



① 処遇改善支援先事業所の募集

職場処遇改善支援事業への応募を希望される事業所様への説明会実施
集団説明会：3月12日（木）または、13日（金）

② 支援事業参加申請

プロポーザル方式による参加申請（兼 提案書）となります。
申請受付：3月23日（月）必着

③ 支援先事業所の選定・決定

選定先に対する現地インタビューの実施と実施事業所の決定 決定日：3月29日



本事業は各施設からのプロポーザル方式により選定いたします。ロボットスーツHAL[®]介護支援用（腰タイプ）の活用プランについて企画書提案書を3月23日までに提出。その後、企画提案書を提出いただいた施設を対象に、神奈川県、サイバーダイン社、湘南ロボケアセンターによる組織メンバーで選定会議を開催し対象施設を決定いたします。

応募時提出の企画提案書につきましては、下記書式を参考にご提出ください。

■ 企画提案書（構成例）

①タイトル	<ul style="list-style-type: none"> 活動のタイトル
②問題点の表明	<ul style="list-style-type: none"> 重労働などの負担に伴い従業員の定着率に影響を与えているとみられる業務上の問題点 現状の離職率（正社員を対象）
③改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 上位目標改善のため、今後ロボット活用などを通じて実施する改善目標（日常業務において自らの業務行動の中で改善をすすめる作業） 上位目標（最終評価目標）：離職率50%減（対前年度）
④利用シーンと効果測定	<ul style="list-style-type: none"> 改善が期待される業務プロセス（ロボット活用シーンなど） 上記③改善のための主要測定指標（定性・定量指標）
⑤実施メンバー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの実施メンバー（予定者）